

OHKチャリティキャンペーン「愛の助け合い運動」から

香川県内の交通遺児・老人福祉に対し寄付を行いました

OHK岡山放送は3月12日（木）に香川県庁において、OHKチャリティキャンペーン「愛の助け合い運動」の一環として、香川県交通安全県民会議と香川県老人福祉施設協議会へ、OHKのイベントなどで寄せられた浄財のうち、あわせて35万円を寄付いたしました。



写真提供・香川県

香川県交通安全県民会議には昭和55年から、香川県老人福祉施設協議会には昭和60年以降、毎年寄付をさせて頂いております。今年度も、この日開催された寄付金贈呈式において香川県交通安全県民会議会長でもある 浜田 恵造香川県知事と香川県老人福祉施設協議会会長・小川 望様に、OHK・中静敬一郎社長からそれぞれ目録を贈呈いたしました。

贈呈式の後、浜田知事は「交通事故の被害者の中には、シートベルトさえしていれば命が助かったケースがある」と、シートベルト着用の必要性を訴えていらっしゃいました。OHKとしても、募金活動の他、県民の方々により一層交通安全に対する意識を高めてもらえるような活動も行っていきたいと考える機会となりました。



(写真左から) 香川県老人福祉施設協議会・小川会長、
OHK中静社長、香川県交通安全県民会議 会長・浜田 恵造香川県知事

香川県交通安全県民会議では毎年、寄せられた寄付金を図書カードに換え、あるいは入学時の一時金として香川県内の交通遺児に配布・支給し、就学援助を行っています。

香川県老人福祉施設協議会には老人福祉援助資金として役立てていただくことにしています。